
うちのコロ

風来のシレン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

うちのコロ

【Nコード】

N8212D

【作者名】

風来のシレン

【あらすじ】

ある日突然我が家に訪れた野良ネコの、やりとりを綴ったノンフィクション小説です。

(前書き)

私達と同じ様に、猫を飼った事がある人が、一人でも共感してもらえればと思い、書きました。

我が家では平凡な日々が送られていた
そこに

「うにゃああおおおううううううん」
という、すぐに猫の鳴き声と分かる鳴き声が聞こえた

玄関に行ってみると

想像通り

猫が一匹　ちょこんとした
ヒマラヤンだった

何か欲しげである

でもこうだった場合

何かをあげてしまった時点で

飼い猫同然という扱いになってしまい

餌代もばかにならない例も結構ある

しかし

「彼」は一向にたじろぐ気配もない
母が仕方なく

残りものだった魚の干物をやった

そうすると

かぶりつかんばかりに

ムシヤムシヤと食べている

よほど腹が減っていたのだろうか

そうして

一旦はその場から立ち去った

前もって言うておくが

私の実家は山の中腹にある関係上

山犬や野良猫がやたらと多い

「彼」もその類だったのかな？と思った

その数日後

「彼」はまた来た

その仕草からして

またしてもまた何か欲しそうにしている
こういうのは

一度やったらもうダメ

結局最終的には一カ月ほどかかり
我が家族の一員となった

「彼」はモリモリ餌を食べ

どんどん太っていった

その為「彼」のニックネームはいつしか

「コロコロ太っている」という意味で

「コロ」となった

しかし

「彼」には魔の手が忍び寄ろうとしていた

私の祖母が

体調不良で倒れ

介護を要する状態にまで陥ってしまったのだ

必然的に

「彼」の餌代は削られ

最終的には何カ月も前のものを
食わざるをえなくなっていた

「本人」は嫌がっていた風だったのだが
現実はそのを許さなかった

時折

「彼」は野ネズミを捕えてきて

ご褒美に新しい餌をもらいたい意思表示をしたのだが
私たち人間にははっきりいって
有難迷惑以前の問題だった

そんなこんなで

家族の「彼」に対する応対が

日に日に冷たくなっていった

それは現実的にどうする事も出来なかった

そしてある日

「彼」は最後のご褒美を貰おうとして野ネズミを捕え
我が家の玄関先まで来たところで
息絶えていた

今にしてみれば

人間の勝手で殺してしまった

可哀そうな事をしたと思っている
もし墓が分かるなら

今からでも

十数年たった今からでも

お詫びに行きたい

「彼」に「ありがとう」と「ごめんなさい」を

(後書き)

「コロ」の墓、実は無いんだそうです。適当に土葬されたそうです。親もその場所をあえて教えてくれないし、残念な気持ちにははれませ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8212d/>

うちのコロ

2010年10月21日21時33分発行